



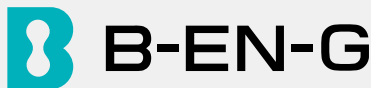
Wolters  
Kluwer

CCH® Tagetik



## Case study

# Business Engineering Corporation



### お客様名

ビジネスエンジニアリング株式会社  
Business Engineering Corporation

### 業種

情報処理サービス業、  
ソフトウェア業

### CCH® Tagetik の利用分野

CCH Tagetik 予算編成・計画・予測プラットフォームによる

- プロジェクト収支管理
- 予算策定、計画、予測
- 全社業績管理

### 会社概要

- 主に製造業向けに「ものづくりのためのIT」を提供。ソリューション事業ではSAP ERPと周辺ソリューションを導入するシステムインテグレーション事業を、プロダクト事業では自社ERP製品mcframe（エムシーフレーム）の開発・販売・導入事業を営む。
- 1999年4月事業開始
- 従業員537名（2024年3月末）

### 要件

- プロジェクト別の収支管理
- 予測精度の向上と高度化
- 予算管理のDX化

「既存システムでは四半期ごとの収支見込みの把握に23日を要していましたが、CCH Tagetik導入後は12日に短縮。約50%の効率化を実現し、月次での経営状況把握と多角的な分析が可能となり、迅速な経営判断のための情報を提供できるようになりました。」

ビジネスエンジニアリング株式会社 代表取締役 専務取締役CFO 別納 成明様

### 課題

ビジネスエンジニアリングは、システムインテグレーション(SI)ビジネス中心の事業構造から、自社ライセンス販売の拡大やSaaSビジネス伸長といった事業構造の変化により、老朽化した社内システムを刷新して収益性の異なる複数の事業を管理する必要がありました。同社の既存システムは20年来使用されており、以下の3つの主要な制限がありました：

- 手作業によるデータ集計:プロジェクト単位での収支管理から部門PLへの積上げにExcelによるバケツリレーが必要で、データ集計に多大な時間を要していました。
- 分断されたプロセス:受注見込みの案件と稼働中プロジェクトの収益管理など、関連するプロセスが別々のシステムで実行されていました。Excel上での連携の不備により、案件チェックや顧客名寄せに余分な工数が発生していました。
- Excelベースの予測:販管費見通しもExcelに依存していたため、四半期単位での集計頻度が限界でした。結果として、収支見込みの集計に23日もの期間を要し、経営判断に必要なタイムリーな情報提供ができない状況に陥っていました。

### 目的

ビジネスエンジニアリングは、全社データを自動的に集約できるシステムの構築が急務でした。その結果、経営管理プラットフォームに求められた要件は以下の通りです：

- 精緻な収益管理基盤の確立  
同社が選択するソリューションには、個別プロジェクトから部門別PLまでを一気通貫で管理できるシステムの構築が求められました。顧客別・商材別の分析を通じて戦略的な意思決定を支援できることが重要な優先事項でした。

「多様化するビジネスモデルに対応し、プロジェクトから部門までの収益管理を一元化する仕組みを、現場の負担を増やすことなく実現したいと考えていました。CCH Tagetikの導入により、これらの課題を解決できました。」

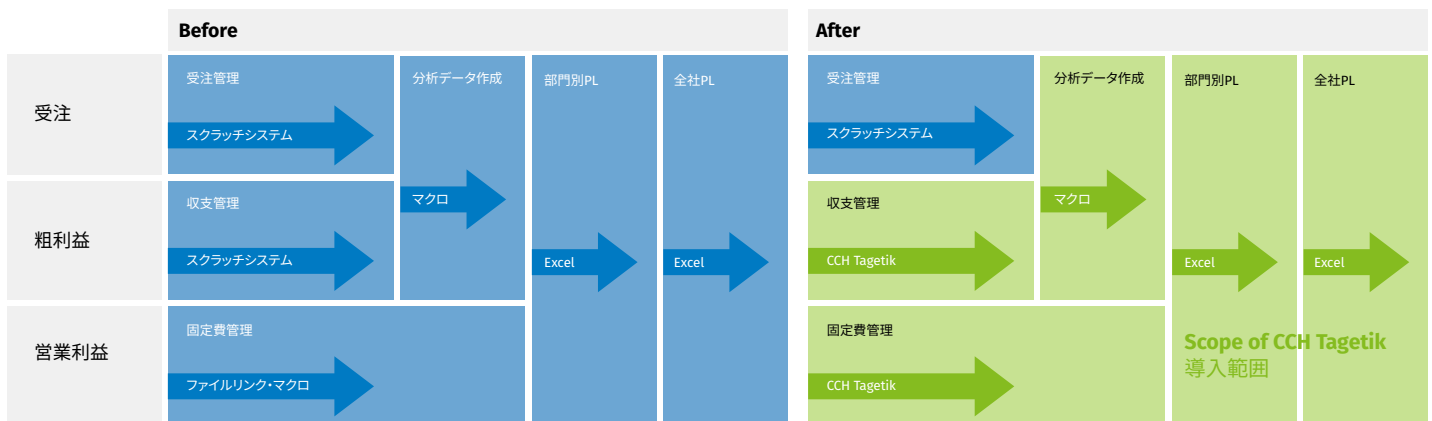
ビジネスエンジニアリング株式会社  
経営統括本部DX推進マネージャー  
鈴木 優介様

- 多様なビジネスモデルに対応する管理体制の実現  
SIビジネスとライセンスビジネスなど、異なる収益構造に適應できる管理会計システムが必要でした。また、工数ベースの費用配賦や独自の原価差額計算に対応し、部門の実態に即した業績管理を実現すること。さらに、将来的にはグループ企業全体の連結管理ができることが目標でした。
- 経理業務プロセスの革新  
選択するソリューションには、収益予測の集計を迅速化し、月次での経営報告を可能にすることが求められました。データ収集や突合作業の自動化により、現場の負担を軽減しながら、正確な経営情報を提供できる仕組みの実現を目指しました。

## ソリューション

ビジネスエンジニアリングは、以下の理由からCCH Tagetik 予算編成・計画・予測プラットフォームを選択しました。

- プロジェクト単位の統合的な収益管理: CCH Tagetikを活用し、プロジェクト単位の収益管理を中心とした統合的な業績管理システムを構築することができました。
- 高度な多角的分析の実現: CCH Tagetikにより、工数ベースでの費用配賦や独自の原価計算など、既存の管理会計の考え方を維持しながら、データを明細として一元管理し、多角的な分析を可能にしました。
- スムーズな導入と移行: CCH Tagetikが持つExcelとのシームレスな連携機能により、段階的な移行が可能に。予算や収益見込みの入力担当者である現場のプロジェクトマネージャーの使い勝手を維持し、業務への影響を最小限に抑えることができました。



## 効果と結果

### 収支見込みの集計時間を約50%短縮

収支見込みの集計時間が23日から12日に短縮されました。

### 四半期の収益予測を月次化

CCH Tagetikによるリアルタイムな情報提供により、収益予測の頻度を四半期から月次へと向上させることができました。

### 分析精度の向上

CCH Tagetikで受注・売上見込みの明細データを一元管理し、顧客別・商材別の多角的な分析を実現。プロジェクト単位の収益性把握から部門PLまで、一貫した管理体制を確立しました。

### スムーズな移行と定着

現場のプロジェクトマネージャーの入力画面にExcelなど使い慣れたインターフェースを採用し、学習コストを抑制。業務への影響を最小限に抑えた移行を実現しました。

### グループ全体での経営管理高度化へ

海外子会社を含むグループ全体での管理会計の統合を視野に入れています。CCH Tagetikの機能を活用し、連結ベースでの経営管理の実現や、より高度な分析基盤の構築を目指していきます。

## ビジネスエンジニアリング株式会社について:

ビジネスエンジニアリング株式会社は、1990年代に日本で初めてSAP ERPの導入支援を手掛けた、製造業向けITソリューションのパイオニアです。SIビジネスを基盤としながら、自社開発のソフトウェア製品やSaaSソリューションの提供へと事業領域を拡大。お客様のデジタル変革を、IT企画から運用までのトータルサービスで支援しています。

自社においても、プロジェクト単位での採算管理と迅速な経営判断の実現を目指し、CCH Tagetikを活用した新たな経営管理基盤の構築に取り組んでいます。この経験を活かし、今後は顧客のデータドリブン経営の実現に向けた支援を強化していく方針です。

## ウォルターズ・クルワーについて:

ウォルターズ・クルワー (EURONEXT: WKL) は、医療・税務・会計、ガバナンス、リスク管理とコンプライアンス、法務・規制、経営管理・ESGの各分野における専門情報、ソフトウェアソリューションとサービスのグローバルリーダーです。深い専門知識とテクノロジー・サービスを組み合わせた専門的ソリューションを提供することで、お客様が日々重要な意思決定を行えるように支援しています。

ウォルターズ・クルワーは、2023年に56億ユーロの年間売上高を計上しました。同グループは180カ国以上の顧客にサービスを提供し、40カ国以上で事業を展開、全世界で約2万1400人を雇用しています。本社はオランダのアルフェン・アン・デン・レインにあります。